

衛星放送による地上デジタルテレビジョン放送の 再送信等に関する技術的検証等について

デジタル時代における放送制度の
在り方に関する検討会
衛星放送ワーキンググループ

令和6年1月24日

【目的】

デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会及び衛星放送ワーキンググループでの議論を踏まえ、衛星放送による地上デジタルテレビジョン放送の代替可能性について、2K放送による衛星を活用した放送番組の再送信等の技術的検証等を実施し、衛星放送の活用による小規模中継局等の代替に必要な要件を整理する。

【検証項目等】

（1）対象地域等の検討

- ・対象地域の選定（地理的特性等を考慮し、全国で2箇所条件不利地域を選定）
- ・実施体制の確立（各地域の地上デジタルテレビジョン放送を提供する放送事業者の協力）
- ・システム構成及び検証方法の検討（直接受信との比較・分析ができるよう考慮）

（2）送受信環境等の技術的検証

① 検証項目の検討

- ・画質や音声、遅延等の品質・機能
- ・より効率的な映像符号化方式の適用
- ・気象耐性（降雨や降雪による影響の検証・検討）
- ・視聴エリア制限（視聴対象エリアを制御できるか検証）
- ・費用試算（地上デジタルテレビジョン放送から衛星放送への映像符号化方式の変換や、衛星の使用料等の送信側の費用試算）

② 技術的検証の実施

- ・上記①の検証項目による送受信環境等の技術的検証の実施

（3）視聴者の受容性に関する検証

① 検証項目の検討

- ・ 視聴者負担（視聴料金や受信機の設置等の費用負担をどこまで受け入れられるか）
- ・ 視聴サービス（新たな映像符号化方式による画質等品質、気象条件（降雨、降雪など））等

② 受容性に関する検証の実施

- ・ 約40世帯（1地域あたり約20世帯×2地域）の視聴者に対するアンケート・ヒアリングの実施

（4）（2）及び（3）を踏まえた衛星代替の仕組みや品質・機能要件の整理等

- ・ 技術的検証及び視聴者の受容性に関する検証の結果を踏まえた、衛星放送による地上デジタルテレビジョン放送の再送信の仕組みや品質・機能要件の整理
- ・ 実際に衛星代替を導入する場合に生じ得る、技術面、運用面及びコスト面（視聴者が負担する費用を含む）等の課題の整理
- ・ 衛星代替を導入した場合の放送用周波数の有効利用に資する効果の推計・試算

なお、上記（1）～（4）については、衛星放送の基幹放送局提供事業者、地上基幹放送事業者、受信機メーカー等の意見も聴取し、必要なフィードバックにより調査を行う。